

プレスリリース

令和 7 年 3 月 25 日
観光文化スポーツ部
スポーツ振興課

報道機関各位

第 2 期山形県スポーツ推進計画（案）に係る意見募集の結果について

県では、令和 7 年度からの 5 年間における本県のスポーツの推進に関する施策の方向性を示す第 2 期山形県スポーツ推進計画の策定にあたり、パブリック・コメント（意見募集）を実施しました。

このたび、意見募集の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

記

- 1 意見の募集期間
令和 7 年 2 月 25 日（火）から令和 7 年 3 月 18 日（火）まで
- 2 提出された意見の件数
23 件（意見提出者 1 名）
- 3 提出された意見の概要及び意見に対する県の考え方
別紙のとおり

問合せ先
観光文化スポーツ部スポーツ振興課
課長補佐 永井
電話 023-630-2283
報道監 観光文化スポーツ部次長 丸子

第2期山形県スポーツ推進計画（案）に係る意見募集の結果について

1 意見の募集期間 令和7年2月25日（火）から令和7年3月18日（火）まで

2 提出された意見の件数 23件（意見提出者1名）

3 提出された意見の概要及び意見に対する県の考え方

No	御意見の概要	県の考え方
1	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機とした相手国との交流の継続は大切だと思うが、どう考えるか。	各市町村において、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機とした相手国との交流を継続することは、交流人口の拡大につながるものであると考えています。
2	市町村によって部活動の地域移行（地域展開）を見送ることは可能か。	各市町村においては、県の方針を踏まえ、市町村ごとの方針を策定し部活動改革を進めており、令和6年度は全市町村で中学生の休日の部活動の地域展開に取り組んでいます。
3	子どものスポーツ実施率について、小学生女子が小学生男子と比較し低いのはなぜか。	全国的な傾向ではありますが、「スポーツが好き」や「体育授業が楽しい」といったスポーツに対する意識の違いも影響しているのではないかと推測しています。男女によって、スポーツの楽しさを感じるポイントにも違いがあり、調査結果も活用しながら、各学校における体育授業の改善等を行っていきます。
4	国体（国スポ）の天皇杯順位やインターハイ入賞者数が後期改定計画策定時より低下しているのはなぜか。	少子化による競技人口の減少など様々な理由が複合的に関係していると考えておりますが、引き続き、指導者の育成・確保を含め本県の競技力の向上に努めていきます。

No	御意見の概要	県の考え方
5	第3章の2について、(1)～(4)の前に、それぞれの基本方針を記載した方がわかりやすいのではないか。	第1期計画策定後からこれまでのスポーツをめぐる主な状況等を踏まえ分類した(1)～(4)の4つの観点から、それぞれの基本方針を設定していることから、このような記載となっているものです。
6	子どもを取り巻くスポーツ環境の変化として、民間のスポーツクラブも重要ではないか。	子どもを取り巻くスポーツ環境の変化として大きく関係する少子化や部活動改革を主に記載していますが、総合型地域スポーツクラブなど地域との連携は重要であると考えています。
7	ライフステージの区分に具体的な年齢を記載してはどうか。	ライフステージについては、年齢による明確な区分は困難であるため、具体的な年齢は記載していません。
8	県スポーツ賞・小学校スポーツ優秀賞の授与は、スポーツに携わる者の貢献に資する取組みなので、継続していただきたい。	引き続き県スポーツ賞及び小学校スポーツ優秀賞による顕彰を行います。
9	平均寿命と健康寿命に差があることや、運動習慣の定着やロコモ・フレイル・介護予防の取組みが重要であることを県民に周知していただきたい。	関連する事業の実施や「やまがた健康フェア」などの各種イベント、県ホームページなどの各種媒体を通して周知していきます。
10	県内5か所の広域スポーツセンターはどこにあり、どのような事業を行っているのか。	広域スポーツセンターは、県スポーツ振興課と県内4地区にある各教育事務所内にあり、スポーツ実施率の調査・分析、県スポーツ・レクリエーション祭や各種セミナーの開催等を行っています。
11	「健康経営」の取組みとはどのようなものか。県事業へのインセンティブを付与するなどにより、取組みを推進していただきたい。	「健康経営」は、健康を経営的視点から考え、戦略的に実践することとされており、関連する認定・登録制度として、①経済産業省が認定する健康経営優良法人、②全国健康保険協会山形支部が登録する「やまがた健康企業宣言」などがあります。 こうした健康経営に取り組む事業所へのインセンティブとして、建設工

No	御意見の概要	県の考え方
		事入札参加資格審査においてやまがた健康企業宣言登録事業所及び健康経営優良法人への加点措置を行っているほか、事業所が健康経営の一環として従業員の歩く習慣の定着を促す取組みを行う場合の支援事業を実施しています。
12	P19 に記載の「子ども」は、こども基本法第 2 条に規定する「こども」と同義か。	P19 の「子ども」は、主に小・中・高生を想定しています。
13	スポーツハラスメントにはセクシャルハラスメントも含まれるのか。	P22①イに記載のとおり、スポーツハラスメントにはセクシャルハラスメントも含まれます。
14	学校体育施設のトイレ洋式化、照明の LED 化の推進には、県内スポーツ施設の改修も含まれるのか。	県内スポーツ施設の改修については、各施設管理者において検討されるものと考えております。
15	プロスポーツチーム等と連携した体を動かす楽しさを体感する機会は有意義であり、県内外のスポーツチームを対象に実施していただきたい。	引き続き、県内のプロスポーツチーム等のほか、県内に合宿に訪れた県外のスポーツチームとの交流を支援する取組みを行っていきます。
16	部活動改革は令和 5 年 3 月に山形県教育委員会が発出した「山形県における部活動改革のガイドライン」に沿ったものか。	「山形県における部活動改革のガイドライン」に沿って、本県の部活動改革を進めています。
17	「楽しい体育授業づくり研修会」の開催は、体育授業で運動嫌いの児童生徒をつくらぬことに資する取組みであり評価する。	引き続き「楽しい体育授業づくり研修会」の開催等により、子どもが運動する楽しさを実感し、生涯にわたってスポーツに親しむ態度の育成を図ります。
18	YAMAGATA ドリームキッズの在籍生・修了生の中に、日本代表・年代別日本代表に選出された選手や国際大会・全国大会で活躍する選手がいることは、県内	本事業の活動内容等をまとめた「ドリーム通信」を県内全小中学校、教育事務所、市町村教育委員会に送付するとともに、公式ホームページやインスタグラム、新聞等により周知しています。

No	御意見の概要	県の考え方
	の子どもにどのように周知しているのか。 また、この事業から輩出された選手が県内のスポーツをする子どもに貢献する取組みはあるのか。	また、本事業から輩出された選手を講師として招へいし、自身の学びや経験をお聞きする講話プログラム等を実施しています。
19	モンテディオ山形アカデミー運営への支援のほか、他のプロスポーツチームのジュニアチームにも支援を行っているのか。	県内プロスポーツチームの現状を踏まえながら、ジュニアチームの運営等に係る支援を行っていきます。
20	トップアスリート育成に向けた優れた指導者の養成・確保については、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得を視野に入れた取組みなのか。	国民スポーツ大会に参加する監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の保有が義務付けられているため、当該資格の取得も視野に入れた取組みを進めています。
21	スポーツ医・科学やデジタル技術の有効活用に関し、特にスポーツ医に係る具体的な取組みは何か。	スポーツ医やスポーツトレーナーによる各種全国大会派遣への支援などの取組みを行っています。
22	国内外から参加者を募る大規模な大会開催のため、新たな施設の設置が必要であり、庄内地域に設置することで庄内圏域の発展に貢献することができるのではないか。	新たなスポーツ施設の設置については、多額の建築費と維持費が必要となることから、整備主体とともに、整備や維持管理手法等について十分に検討する必要があると考えています。
23	本県高校野球の強化に向けた取組みはあるか。	本県の高校野球の優秀な人材確保に向けて、中学生の硬式野球強化事業を支援する取組みを行っています。